

令和4年度

事業報告

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

社会福祉法人 法延会

理事長 古屋野 順友

はじめに

わが国は、超高齢社会に突入し、出生率も過去最低となり、少子高齢化に歯止めが掛からない。

サービスを提供する介護や保育、医療の現場に於ける虐待の実態が明るみになり、事件や死亡事故が発生しており、マンパワー不足は、様々なストレスや不安の中で働く介護や保育、医療従事者の心身にも悪影響となっているのではないだろうか。

マンパワーの確保、優れた職員の育成は大きな課題となっている。

介護処遇改善支援補助金など、様々な政策や新たな多様なサービスが創造されているが、依然として介護職離れの課題がある。

本年は、軽井沢学園の改築、移転、児童家庭支援センターの開設と、大変重要な年度となった。

資材の高騰、コロナ禍の影響で軽井沢への移住、マンションやホテルの建設が相次ぎ、一時は、計画の続行は大変厳しい状況もあったが、無事に完成し、新家屋での生活を始めることが出来た。

小規模化、里親支援等、国の方針に沿いながら関係機関と連携を強め、更に私たちの事業活動に賛同し支援して下さる方々の協力を仰ぎ、子どもたちの明るい未来のために、又地域社会に必要とされ信頼される組織を構築していきたい。

又、長引くコロナ禍は、感染者の増減を繰り返しながら終息に至らず、事業所に於いてもご利用者、職員、家族が感染或いは濃厚接触者となることもあり、職員の家族が通う職場や学校、保育園の感染状況によって出勤出来ないということもあった。

更に、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も重なり、光熱費、食材、備品等全ての価格が著しく高騰し、経営上、今年度の当初予算を大幅に上回る決算となった。

コロナ禍、物価高騰、マンパワー確保など、今後にも検討すべき課題が残る年度となった。

【法人理念】 「慈しむ心」と 「安心」・「信頼」・「喜び」

「慈しむ心」とは・・・他を思いやる心

「安心」とは・・・安全で心配や不安がなく心が安らかであること

「信頼」とは・・・頼りになると信じること

「喜 び」 とは・・・うれしい気持ち、満足な気持ち

【職員の使命】

法延会職員は、

- 1、ご利用者、または入所児童に対し安心の気持ちを抱いて頂くよう、その方の心に寄り添い、その方の意見、人格を尊重して支援していく

法延会職員は、

- 1、職員間において、相手を思いやり、相互の信頼関係を育み、仕事が喜びとなるよう心掛ける

法延会職員は、

- 1、ご利用者または入所児童の家族、関係機関、地域住民はじめ支援して下さる方と、より良い関係を構築し、連携して、地域や社会に貢献するサービスを創造していく

法延会職員は、

- 1、ご利用者または入所児童の個別ニーズを的確に把握して、必要な援助、社会参加できる機会を提供する

法延会職員は、

- 1、 社会福祉専門職としての自覚を持ち、質の高いサービス援助、支援を提供するべく、研修など自己研鑽に努めるとともに、援助を受ける人に対し、偏見などの先入観や思い込みなどを持って、援助をしないように、自分自身の考え方などをしっかりと考え、理解しておく（自己覚知）

【高齢者部門】

強化目標 振り返り

1. 長引くコロナ禍で感染予防のため通常より負担が重くストレスが高くなるので、ご利用者、職員のモチベーションを高める工夫をする。

- ・スタンプカードの活用で、目標が出来、体操など参加者が増加し、生き生きと活動することが出来た。

- ・職員は、恒例の職員研修旅行や懇親会に替えて、朝礼でのビンゴゲームを実施した。

1. 個々の人格や思考を尊重し、身体状況や希望に応じて、明るく、楽しく、心豊かな日常生活を過ごしていただけるようサービス支援をしていく。

- ・個々のニーズや希望に即した個別支援や、感染症対策を考慮した上で、小人数でのドライブ、花見などを実施した。

- ・感染状況を見極めながら、ゲストを招いて、コンサートやダンスのイベント、クラブ活動を実施した。

1. 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染予防を徹底し、ご利用者の健康を守る。

各事業所に於いて、最善の対策を講じたが、最終的には防ぎきれなかった。静山荘に於いては、ショートステイご利用者の感染を発端にクラスターとなり、数名のご利用者と職員を除く大多数が感染した。

終息に約1月半かかったが、幸い重症者や死亡に至らず、職員一丸となって危機を乗り越えた。

その間、ショートステイの新たな受け入れを中止した。

グループホームでは、入院中の感染者があった他、職員、職員家族の感染があった。

宅老所では、ご利用者の感染が確認され、営業を取りやめたことが数回あった。

1. 旧軽井沢地区は、グループホームと宅老所ふらりとみかさが連携して、地域福祉一拠点として、地域住民との良好な関係を築く。

- ・地域運営推進会議の開催は、コロナの感染状況により、書面によることが多く対面での会議がほとんど出来なかった。

- ・屋外で、ジャズ体操の実施、ジャズダンス、子供の和太鼓を鑑賞する機会を設けた。

1. 地域交流に積極的に取り組み、地域の皆さまと良好な関係を築き、地域社会に必要とされる組織であり、場所であるべく、活発に地域の活動に参加し、地域の皆さまに訪れていただく機会を設け、更にご利用者の社会参加に結び付けて、交流の場を提供する。

- ・地域行事や恒例の夏祭りでの地域住民との交流は、感染症対策のため行わず、事業所内に留めた。

1. 職員が、お互いに思いやり、協力して、生き活きと働ける職場環境をつくる。
 - ・コロナ感染や濃厚接触者、職員本人や家族がその対象となり、長期に亘る欠勤となる事態がみられたが、事業所内での相互協力によって乗り越えた。
1. コミュニケーションを大切にし各部署、各事業所の連携を強め、職員同志の連帯感を高める。

コロナ感染に伴う予定外の欠勤者がいたこともあり、職員会や内部研修の参加者が少なかった。

交流の機会を持つことが困難だった。

【静山荘】

1. 行事・活動について、コロナウィルス感染対策を徹底しつつ、旧来より継続していることについては、工夫を重ね、より一層充実したものにしていく一方で、更にご利用者のニーズを的確に捉えて新たな活動を創造し、その都度見直していく。
 - ・コロナの感染状況によって、クラブ活動の講師を外部から招くことが出来ない時期があったが、職員主導で行い、施設内で工夫を凝らした季節の行事を行った。
 - ・しまむらの出張店舗を招き、施設内で衣類等の買い物を楽しんでいただいた。
1. 個室に引きこもり、孤独感を抱かないよう他のご利用者とのコミュニケーションが容易であるように考慮する。
 - ・施設内では、ご利用者のマスク着用の徹底は難しく、通常であればご利用者同士の会話や交流の場面でも感染リスクがあり、感染対策が困難な状況があった。
 - クラスター発生時は、感染しなかったご利用者を守るために、居室で過ごしていただかざるを得なかった。
1. 職員同志、ご利用者同志、職員とご利用者、地域の方々やご家族、ボランティア、関係機関、事業所間で良好な関係を築く。
 - ・コロナ感染対策マニュアルを作成したが、感染防止のため、面会や外出、外部の方との交流が制限された。
1. リハビリテーションなど、体力や健康増進のためのプログラムを強化する。

- ・ラジオ体操の参加促進のため、スタンプカードで賞品を獲得出来るようにした。

1. 館内や敷地内の整備

- ・植物の植栽

(花いっぱい運動参加・ボランティアグループとともに・園芸クラブ)

1. 業務の内容、手順、連携について工夫を重ね、勤務体制をより一層充実したものにしていく。

- ・コロナ感染に伴い、厳しい勤務体制であったが、職員の協力によって危機を乗り越えた。

1. 行事や活動について、工夫を重ね、更にご利用者の意見を尊重して、ニーズを的確に捉えて、新たな活動を創造し、その都度見直してより一層充実させる。

- ・コロナ禍にありながら、感染対策をとりながらの活動が多かった。

【ホームヘルプサービス】

- ・地域のご利用者に対するサービスで、感染予防対策を徹底し、慎重に行う中、コロナの感染者や濃厚接触者がいたため休業したことがあった。

【ケアサポート静山荘】 *ケアサポートせいざんから新名称に変更した。

- ・2名体制 新規ご利用者を受け入れ、地域に向けた業務を拡大する。一定の成果はあった。
- ・法人内のケアマネージャーは、専門的な研修を重ねる必要があるため、情報提供や専門知識向上を目的とした専門的な研修を行う。内部での研修、オンラインを含む外部研修を行った。

【ショートステイ】

- ・担当職員2名として受け入れ体制を整える。担当者1名が、産休に入ったため1名を維持。
- ・感染症予防防止対策をマニュアルに従い、健康チェック、利用者、ご家族の行動履歴を鑑みて受け入れをしていく。*充足率より感染防止を重視する。外部からのショートステイの受け入れは、感染リスクを伴い、結果として施設内クラスターに繋がってしまった。

【研修】

- ・オンライン研修を中心に、感染症防止策を徹底して行った。
- ・外部研修 オンラインによる研修
 - ・内部研修 年間スケジュールをもとに、月例職員会の際に実施。
 主にネット配信の動画による研修を活用した。

【公用車】

静山荘 軽自動車、新車購入（ホンダNBOX）

【設備】

静山荘 居室にエアコン設置（20台）

補助金申請

- ・非常用自家発電設備 設置工事（エルピーガス振興センター補助金）

*旧静山荘跡地利用について

公用車、職員関係者の駐車場

空きスペースを貸駐車場として年間契約（2社） 収益事業

<p>令和4年</p> <p>4.1 ジャズ体操</p> <p>8 消防設備点検</p> <p>13 外出支援 お花見 (さくらさく小路)</p> <p>17 〃 (雪恋公園)・映画鑑賞</p> <p>19 〃 (小諸方面)</p> <p>21 外出支援 お花見 4月誕生会</p> <p>24 外出支援 お花見(軽井沢町内)</p> <p>25 〃 (三ツ石公民館)</p> <p>27 カフェ(2階地域交流スペースにて)</p> <p>5.2 園芸クラブ</p> <p>13 書道クラブ</p> <p>20 カフェ(2階地域交流スペースにて)</p> <p>25 陶芸教室</p> <p>26 5月誕生会</p> <p>27 外出支援 (佐久方面)</p> <p>29 映画鑑賞「雲霧仁右衛門」</p> <p>31 外出支援 (佐久方面)</p> <p>6.3 避難訓練</p> <p>7 ジャズ体操 居室エアコン設置工事(20台)</p> <p>9 ジャズ体操</p> <p>12 ジャズ体操発表会・地域交流会</p> <p>15 書道クラブ</p> <p>17 カフェ(2階地域交流スペースにて)</p> <p>19 映画鑑賞</p> <p>22 ハローアニマルふれあい動物訪問</p> <p>23 しまむら訪問販売</p> <p>28 6月誕生会</p> <p>7.6 参議院選挙不在者投票</p> <p>6 ジャズ体操</p> <p>7七夕まつり</p> <p>12 陶芸教室</p> <p>13 胸部レントゲン 書道クラブ</p> <p>15 コロナワクチン接種4回目 ①</p> <p>19 7月誕生会</p> <p>25 コロナワクチン接種4回目 ②</p> <p>28 ジャズ体操</p> <p>8.3 県知事選挙不在者投票</p> <p>8.10. 夏祭り</p> <p>14 映画鑑賞</p> <p>15 盆法要</p> <p>25 8月誕生会 書道クラブ</p> <p>29 生け花クラブ</p> <p>31 カフェ(静山荘庭にて)</p> <p>9・8 書道クラブ</p> <p>15 敬老祝賀会</p> <p>18 映画鑑賞</p> <p>19 敬老祝いに町長来所</p> <p>20 栄林様より中華まんじゅう200個 秋の彼岸法要</p> <p>28 9月誕生会</p> <p>29 生け花クラブ</p>	<p>10.5 書道クラブ</p> <p>6 華道クラブ・手芸クラブ</p> <p>14 消防設備点検 焼き芋</p> <p>16 映画鑑賞</p> <p>17 カフェ(2階地域交流スペースにて)</p> <p>19 ラジオ体操カード5枚達成者テイクアウト</p> <p>21 10月誕生会</p> <p>24 ガス発電機工事</p> <p>11.1 しまむら訪問販売</p> <p>8 外出支援 (旧軽井沢方面) 焼き芋</p> <p>9 ハローアニマルふれあい動物訪問</p> <p>11 作品展パネル搬入</p> <p>14 ガス発電機完成検査</p> <p>14~18 作品展</p> <p>11.18~ コロナウイルスクラスター 12/5までコロナクラスターにより各居室対応</p> <p>12.9 インフルエンザ予防接種 コロナワクチン接種5回目 ①(コロナ感染しなかった人)</p> <p>20 外出支援 (佐久市方面)</p> <p>21 お餅つき</p> <p>22 11.12月誕生会 クリスマス会</p> <p>31 お年取り</p> <p>令和5年</p> <p>1・1~3 映画鑑賞</p> <p>12 まゆ玉づくり</p> <p>15 どんど焼き</p> <p>18 新年会</p> <p>19 1月誕生会 軽井沢町長選挙不在者投票</p> <p>2・5 節分イベント</p> <p>8 外出支援(佐久方面)</p> <p>14 バレンタインイベント</p> <p>16 小諸市福祉懇談会(16名)</p> <p>3.2 外出支援(小諸)</p> <p>3 桃の節句 桜餅</p> <p>9 だるまの目入れ式</p> <p>12 映画鑑賞</p> <p>14 コロナワクチン接種5回目 ② ホワイトデーイベント</p> <p>20 コロナワクチン接種5回目 ③</p> <p>23 3月誕生会</p> <p>28 NBOX車いす対応福祉車両納車</p>
--	--

令和4年度事業報告書

事業所名 グループホーム旧軽井沢

年間実施行事

4月	お花見散策・ドライブ お花見 やまぼうし発行	人混みを避けてお花見散策へ出掛けました。お花見ドライブにも出掛けました。庭でお花見をしました。
5月	お花見散策 端午の節句 お茶会 おはな祭り 園芸 ジャズ体操 第一回地域運営推進会議	人混みを避け、お花を見ながら散策をしました。 柏餅とおちらしでお祝いをしました。 庭で鯉のぼりを見上げながらお茶会をしました。 妙順寺のおはな祭りに参加しました。 花と野菜の苗を植えました。 天気の良い日は屋外にてジャズ体操をしました。 地域でのコロナ感染拡大にともない、感染症対策のため、書面にて実施しました。
6月	避難訓練 軽井沢幼稚園来所 ジャズダンス発表会 ジャズ体操 散策 収穫 お茶会 第二回地域運営推進会議	避難訓練を実施しました。長野県防災システムさんより防災設備の説明を受け、確認しました。 感染症対策のため屋外にて距離を持ち、先生と園児さんが花の日訪問してくださいました。 静山荘にてジャズダンス発表会の鑑賞をしました。 人混みを避けて散策しました。 プランターに植えたいちごを収穫しました。 庭でお茶会をしました。 感染症対策をしながら対面で実施しました。
7月	七夕 花植え 買い物・散策 収穫 バーベキュー コロナワクチン4回目接種 記録	短冊を作り笹を飾り、七夕メニューでお祝いをしました。 花を植えました。 人混みを避けて、買い物や散策しました。 きゅうり、なす、トマト、バジル等の野菜を収穫しました。 収穫した野菜やお肉、パン等を炭火で焼いてバーベキューをしました。 記録の様式を一部変更し、手書き記録→パソコンで入力する形式に変更しました。
8月	夏まつり 盆踊り たこ焼きパーティー 収穫 子ども太鼓 ジャズダンス発表会 収穫 お茶会	お祭りメニュー、かき氷、ヨーヨー釣り、紐くじ等で夏の雰囲気を楽しみました。 曲に合わせて盆踊りを踊りました。 たこ焼き機で利用者様お好みの具材を入れてたこ焼きを作りました。 きゅうり、なす、トマト、バジル等の野菜を収穫しました。 和太鼓グループ『天鼓』の子ども達が太鼓の演奏を発表し、鑑賞しました。 土屋芳美ジャズダンス教室の皆様よりジャズダンスをご披露、鑑賞しました。 庭でお茶会をしました。
9月	敬老祝賀会 炭火焼きランチ 軽井沢町長訪問 敬老祝賀 園児来所 ハローアニマル動物ふれあい訪問 第三回地域運営推進会議 季刊誌「やまぼうし」発行	記念撮影と調理スタッフによるお祝い御膳で、敬老のお祝いをしました。 理事長が楽器演奏でお祝いをしました。 ホットドックやニジマスを炭火で焼いてランチを楽しみました。 敬老のお祝い・米寿1名と百寿2名のお祝いに藤巻町長が訪問くださいました。 軽井沢幼稚園園児さんが、戸外にて距離を持ち、敬老のお祝いに訪問してくださいました。 感染症対策をしながらハローアニマルのかわいい動物達が訪問くださいました。 地域でのコロナ感染拡大にともない、感染症対策のため、書面にて実施しました。
10月	もみじ狩り散策・ドライブ 避難訓練 ハロウィン	人ごみを避け、散策やドライブに出掛けました。 秋の避難訓練を実施しました。 軽井沢幼稚園園児さんがハロウィンのため、戸外に訪問して下さいました。 利用者様も仮装し、仮装した子ども達をお出迎えし、盛り上がりました。
11月	作品展 クリスマスツリー飾りつけ インフルエンザ予防接種 焼き芋・炭火焼き 季刊誌「やまぼうし」発行	静山荘にて開催された作品展に、日常の活動の写真集と作品を出品しました。 クリスマスツリーを飾り付けしました。 焼き芋とホットドック、焼きりんごの炭火焼きを楽しみました。
12月	クリスマス クリスマス会 忘年会	クリスマスの飾りやリース作りをしました。ホーム内をクリスマス装飾して楽しみました。 特製クリスマスランチ・ケーキでお祝いしました。 お食事と共に1年間を振り返りました。

お年取り 年賀状作り	お年取りのメニューで1年を締めくくりました。 紙すきをして年賀状のハガキを作りました。はがきに貼り絵をしてご家族へ年賀状をお出しました。
コロナワクチン5回目接種 第四回地域運営推進会議 季刊誌「やまぼうし」発行	地域でのコロナ感染拡大にともない、感染症対策のため、書面にて実施しました。
1月 お正月 新年会 どんど焼き 第五回地域運営推進会議	お正月のメニューや、カルタで、お祝いをしました。 お食事で新年のお祝いをしました。 まゆ玉を作り、妙順寺のどんど焼きに参加しました。おしるこを楽しみました。 地域でのコロナ感染拡大にともない、感染症対策のため、書面にて実施しました。
2月 節分 バレンタイン 外部評価	恵方巻き寿司と恵方巻きロールケーキを楽しみ、豆撒きをしました。 チョコレートスイーツを作りました。 令和4年度の外部評価を受けました。
3月 ひなまつり ホワイトデー ドライブ 第六回地域運営推進会議 季刊誌「やまぼうし」発行	桜餅・ちらし寿司等のひなまつりメニューでお祝いをしました。 いちごスイーツを作りました。 町内ドライブに出掛けました。 感染症対策をしながら対面で実施しました。

令和4年度実施状況

- ①昨年と同様、コロナ禍において、規模を縮小し、グループホームのいつものメンバーで、季節ごとのイベントを実施することができました。
屋外を活用し、太鼓発表会、幼稚園児の訪問も実施することができました。
季節ごとの食材やメニューを大切にし、利用者様のご希望や故郷メニューを利用者の皆様とメニューを話題に会話や食事を楽しみました。炭火焼きやたこ焼きなどの機会を増やし、利用者様の目の前で特別に調理することが食欲増進につながっているようすが見られました。
- ②できる限りの感染対策を図り、面会をお断りしないことを目標に努め、直接、面会は難しい状況では、窓越し面会やオンライン面会を実施しました。
ご家族の皆様方へは、利用者様のごようすがわかるよう、毎月、写真付きお手紙を作成し送付しました。
- ③主治医の医師、訪問看護とも、小まめに連絡を取り合い、利用者様の健康が保持できるよう支援に努めました。
- ④外部評価を受けました。評価内容を改めて振り返り、今後のサービスに生かしていきたい。
- ⑤今年度は、新たに多くのレクリエーションに取り組むことができました。スクラッチアート、風鈴作り、うちわづくり、サンドアート、思い出カードゲーム、つるし飾り、カラージュ等、利用者様の好みやご希望に合わせたレクリエーションを実施しました。
また、おなじみの、体操、お手玉とうちわレク、テーブル卓球、ちぎり絵、はがき作り、書道、編み物等々も皆様、楽しまれているようすでした。
- ⑥お誕生日には、利用者様の希望のメニューとスイーツでお祝いをしました。ご希望メニューをお聞きすることが会話も弾み、懐かしい思い出をお話して下さるきっかけとなりました。
- ⑦今年度は、2名が退去、2名入居されました。全体的に要介護状態は上がっている状況であります。
- ⑧今年度、猛暑であったため、扇風機や冷風機を例年以上に活用しました。
- ⑨職員は、チームで課題を共有したり、学びの機会を作る等、自己研鑽に努めています。

令和5年度に向けて

- ①引き続き施設内感染には最大の注意を払い、工夫をしながら、行事やレクリエーションの実施をしていきたい。
季節を感じられるような季節の食材やメニューを工夫して提供していきます。
感染症の拡大の状況を見ながら、ご家族のご理解を得たうえで可能な限り、地域に出向いていけるよう支援していきます。
グループホームならではの支援を改めて振り返り、特徴を生かした支援に努めます。
- ②まだまだ面会をご遠慮されているご家族がいらっしゃる現状ですので、小まめに連絡を取りながら、支援に努めます。
続けてホームでの利用者様のごようすが伝わるようお手紙やメール、電話でのやり取りを行います。
- ③主治医、訪問看護、医療機関の皆様のご協力のもと、スムーズに受診や往診、健康観察、緊急時対応、救急搬送等実施できるのでこれからも関係づくり、協働に努めていきます。来年度は訪問看護ステーションとの契約を一旦終了し法人看護師が看護業務を行います。全体的に要介護状態が上がる中、生活の場であることを大切にしながら、それぞれの職種が連携を図ります。
- ④職員は利用者様おひとりおひとりを大切に、人格と歩まれてきた人生に尊敬の念を持ち、かかわります。その上で、介護や認知症ケアについての学びを深め続けていきます。
- ⑤来年度は職員一名が介護福祉士実習指導者講習を受講する予定です。社会福祉士の実習の問い合わせもあります。
職員は、日頃の支援を振り返り、改めて学び直し、福祉職の価値と魅力を再確認し、人材育成に努めます。

令和4年度 事業報告書

事業所名 宅老所 ふらりとみかさ

年間実施行事

4月	春の工作 春の花見メニュー 鯉のぼりの飾り作り	折り紙にて、かぶと作り、チューリップ作りをしました。 いなり寿司、サラダ軍艦、かき揚げ丼、カツ丼など曜日別メニュー 各自が折り紙にて鯉のぼりを作り、飾りや塗り絵をして持ち帰りました
5月	柏もち作り 桜の折り紙 かぼちゃの種まき	手作りの柏餅をご利用者と作りました(各曜日ごとに実施) 折り紙にて桜を作り飾りました。 プランターにかぼちゃの種をまき、庭に薫を引き畑を作りしました。
6月	七夕飾り作り ジャズ体操	七夕飾りを折り紙で作ったり短冊にお願い事を書いて飾りました グループホームにてジャズ体操に参加しました。
7月	避難訓練 七夕まつり ジャズ体操 コロナワクチン接種	火災を想定して避難訓練をしました。 七夕そうめん、手毬寿司などの七夕メニューを楽しみました(曜日ごと) グループホームにてジャズ体操に参加しました。 4回目のコロナワクチン接種(職員)
8月	夏祭り 子供太鼓見学 高校野球テレビ観戦	夏祭りメニュー(焼きそば、たこ焼き、枝豆、かき氷など) 輪投げ、ヨーヨー釣り、魚釣り、風船バレーなどを楽しみました。 妙順寺の庭にて子供太鼓を見学しました。 高校野球をテレビにて、観戦、応援しました。
9月	敬老祝賀会 地域ケア会議 お彼岸 かぼちゃの収穫祭	曜日ごとに昼食に祝賀会メニューにてお祝い(栗ご飯、天ぷらなど) 祝賀カードをプレゼントしました。 ご利用者の困難事例についての会議に出席しました。 おはぎ作りをしました。 今年もかぼちゃが収穫できました。
10月	ピクルス作り 紅葉狩り	職員の家より青いトマトが届きピクルスを作りました。 送迎時に紅葉の綺麗な場所を通りながら紅葉狩りを楽しみました。
11月	干し柿作り 買い物ドライブ 作品展に出品	ご利用者が手分けして柿の皮むきをしてくれました。 佐久方面に買い物と外食ドライブに出掛けました。 静山荘の作品展に作品を展示しました。
12月	クリスマス飾り作り コロナワクチン接種 クリスマス会	手作りの飾りやサンタなどを貼り付けてクリスマスツリー作成しました 5回目コロナワクチン接種(職員) クリスマスメニュー(サンドイッチ、チキンメニュー、エビフライ、スープ 手作りのデザートなど)曜日ごとに楽しみました。
1月	お正月 まゆ玉作り どんど焼き	お赤飯やおせち料理でお正月を楽しく過ごしました。 皆さんが様々な形をつくり、おやつにお汁粉にしました。 妙順寺にてどんど焼きに参加しました。
2月	節分 バレンタインデー	いなり寿司、チラシ寿司などを曜日ごとに昼食を楽しみました。豆まき バレンタインデーのスイーツ作りをしました。
3月	ひな祭り	かわいいお雛様飾りを作成して持ち帰りました。

	リンゴデザート作り	ちらし寿司御膳、いなり寿司、菱餅ゼリーなど曜日ごとに楽しみました。 リンゴをたくさん頂いたのでデザートを作り美味しく食べました。
毎月	誕生会	該当者のいる月に行いました。 お赤飯、栗ご飯、チラシ寿司、手作りデザートなどにてお祝いしました
年6回	地域運営推進会議	感染状況によっては書面にて行いました。
年2回	宅老所新聞発行	春号、年末号を発行しました

令和4年度 実施状況

- コロナ感染症の感染者増加により、ご利用者が陽性になったり濃厚接触者となるなど大変な一年でした。感染症対策を行いながら宅老所内での感染を防ぎ安心してご利用して頂けるように努めました。そんな中で、休業してしまった日もありましたが、感染拡大することもなく無事に再開できました。
- コロナ禍で外出が出来ない中、ご利用者同士の交流が楽しめる様にレクリエーションを計画したり、季節の作品作り、季節のメニューを作ったりと楽しく過ごしました。
- 個々に応じて、手作業や折り紙、パズルなどを行ったり、ラジオ体操やお手玉レク、棒体操などに参加して手足のリハビリになるように支援しました。
- 毎年、冬季になるとご利用者が入院や施設入所等でご利用中止となりましたが、今期はご利用者の皆さんがお元気で来所されていました。

令和 5年度に向けて

- ①ご利用者の気持ちに寄り添い安心して過ごしていただけるように支援します。また、ご家族のご意見やご要望をお聞きして改善に努めます。
- ②小規模ならではの家庭的な雰囲気大切に、個々に応じた家事や手作業に参加したり、レクリエーションが楽しめるように支援します。また、楽しく身体を動かして筋力低下等を防げるように支援します。
- ③コロナ感染症が5類感染症に移行されましたが、引き続き感染症対策を行い、ご利用者が元気で安心してご利用して頂けるように努めます。そして季節を感じられるようなお料理や行事、外出行事(お花見、外食)を計画して楽しい時間が過ごせる様に支援していきます。
- ④職員間のチームワークを大切に、介護技術の向上に努めます。

令和4年度 事業報告書

事業所名 ケアサポート静山荘

1. 事業内容

住み慣れた地域の環境で暮らし続けて行く為に出来る限り自立した日常生活を営むことが出来るよう利用者様、家族と一緒に考え、一人一人に適したサービスが利用でき、家族等介護者の支援も視野に入れ不安なく生活が送れるよう支援いたします。

相談の受付。サービスにあたり市町村、介護サービス事業者等関係者と連携を図りサービスが適切に行われるよう支援いたします。また常に新たな要望、課題には早急に対応し住み慣れた環境で生活できるよう努めます。

※今年度より介護支援専門員2名体制となる。

- ・居宅支援特定事業所加算Ⅲの申請を行う。(1件3,090円/月)
- ・介護支援専門員実務研修実習受け入れ協力事業所登録を行う。
- ・他県、他市町村委託による認定調査他

2. 詳細

(1) 令和4年度ケアプラン作成利用者数推移

※ 別紙参照

(入院、入所利用者は件数より外れる)

新規受付 29件 (別荘利用者除く)

解約(死亡、入所他) 21件 (同上)

別荘利用者 3件

住宅改修申請 2件 福祉用具購入申請 8件 区分変更申請 4件

認定調査件数 2022年4月～2023年3月 他県 8件

新規、更新、退院、様態変化時等のケアカンファレンス随時開催。

(2) 会議・研修

【施設内研修】

- ・ケアマネ定例ミーティング会議 1回/週
- ・法人内ケアマネ定例ミーティング会議 4回/年

(グループホーム、静山荘、居宅介護支援事業所のケアマネ参加)

月1回の予定だったが4年10月～5年2月 コロナ感染拡大の為休止

- ・職員会時法廷内研修参加

【施設外研修】

5月18日 「これからの介護保険動向」(渡邊、大和田) zoom
株式会社シルバー産業 橋村 寿人

5月24日 「ケアプラン点検推進研修」
「ケアプラン点検トレーニング研修」(大和田)
松本市浅間温泉文化センター

6月15日 「フォローアップ研修」(渡邊) 松本市勤労者福祉センター

6月25日 " (大和田) 長野市生涯学習センター

8月30日 地域ケア会議 「男が喜ぶデイサービスとは」(渡邊、大和田)
集合形式(日本シニアライフ様はzoomによる参加) 木漏れ陽の里

令和5年

1月23日 「実務研修実習受入協力事業所 指導者向け研修」(大和田) zoom
長野県法定研修講師 高島 隼人氏

1月24日 「市民後見人について」(渡邊) ハイブリット 木漏れ陽の里
長谷川ソーシャルワーク・成年後見事務所代表 長谷川千種氏

3月15日 プラン点検・事例検討会「アセスメント不十分なケースについて」
(渡邊、大和田) 木漏れ陽の里

3月16日 地域の支え合いフォーラム「みんなでつくろう軽井沢の未来」(渡邊、大和)
ご近所福祉クリエイション主宰 酒井保氏 軽井沢町中央公民館

利用者状況

静山荘

令和5年3月31日現在

1. 年齢別、性別の状況

区分	60～64	65～69	70～79	80～89	90～99	100	計	平均年齢
男	0人	0	13	6	2	0	21	79.43歳
女	0	2	7	20	10	0	39	84.87
計	0	4	20	26	10	0	60	82.97

【 男性 最低 70歳 ・ 最高 92歳 】

【 女性 最低 67歳 ・ 最高 97歳 】

2. 在所期間の状況

区分	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計	1人当たりの 平均在所期間
男	0人	7	5	7	2	0	21	5年01ヶ月
女	6	8	7	14	2	2	39	5年09ヶ月
計	6	15	12	21	4	2	60	5年06ヶ月

【 最高 28年10ヶ月 】

3. 出身市町村

	小諸市	佐久市	軽井沢町	御代田町	大阪市	
男	11	4	5	0	1	21
女	18	8	9	4	0	39
計	29	12	14	4	1	60

4. 入退所者の状況

退所者6名

	死亡	自宅復帰	病院	計
小諸市	1	0	0	1
軽井沢町	5	0	0	5
佐久市	0	0	0	0
御代田町	0	0	0	0
大阪市	0	0	0	0
合計	6	0	0	6

入所者6名

	男	女	合計
小諸市	0	1	1
軽井沢町	0	5	6
佐久市	0	0	0
御代田町	0	0	0
大阪市	0	0	0
合計	0	6	6

5. 介護保険利用者数（3月現在）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	4	2	1	8
女	1	5	12	6	4	1	29
人数	1	5	13	10	6	2	37

1. 令和4年度利用状況

グループホーム旧軽井沢

利用者平均年齢

	70～79	80～84	85～89	90～	計	平均年齢	男	女
要介護1					0			
要介護2				1	1			1
要介護3	1				1			1
要介護4				1	1			1
要介護5			1	5	6		1	5
合計	1	0	1	7	9	91.56歳	1	8

【 最低 74歳 ・ 最高 100歳 】

入所年月 最高 7年6ヶ月 平均 3年06ヶ月

入退所者 退所3名 入所3名

宅老所 ふらりとみかさ

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
営業日数		30	31	30	31	31	30	31	30	30	29	28	31	362
一般	人数	69	72	95	100	81	106	129	103	92	88	72	81	1088
" 予防	人数	13	13	16	15	16	16	14	16	17	15	15	17	183
静山荘	人数	71	80	77	70	58	69	61	38	48	73	39	82	766
利用者数合計		153	165	188	185	155	191	204	157	157	176	126	180	2037

平均介護度 2.3 平均年齢 90.3歳 利用人数 平均 5.58

ショートステイ利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
支援2	28	4	2	2					2	2		5	45
要介護1	17	15	23	21	12	22	15	25	10	9	3	9	181
要介護2	84	112	85	87	92	94	99	79	49	95	101	93	1070
要介護3	41	39	36	80	35	42	32	30	38	26	32	15	446
要介護4	60	107	95	85	78	87	96	96	91	94	83	76	1048
要介護5	20	23	20	20	30	15	7	7	4	10	15	12	183
合計	250	300	261	295	247	260	249	237	194	236	234	210	2973
稼働率	83.3	96.8	87.0	95.2	79.7	86.7	80.3	79.0	62.6	76.1	83.6	67.7	81.5
													%

平均介護度 3.2

年間利用者数 62名 (男22名 女40名)

令和4年度 軽井沢学園事業報告書

はじめに

令和4年度はコロナ禍により入所児童の減少、一時保護児童の増加が顕著な年度手ありました。学園新園舎改築工事については、昨年12月27日に園舎の引き渡しを受け、1月7日に児童の居室移動。3月28日に旧園舎等の解体工事が完了しております。

今後の施設の在り方としては、里親委託が進められ佐久地域では約40%の里親委託が行われているため施設入所児童は減少しています。そのため、令和4年10月1日現在 本園定数35名中20名(57.1%)で依然と措置児童が見込めない状況でありました。佐久児童相談所長と協議をし、東京都小平児相より1名の受け入れ(令和4年10月18日措置)、佐久児相管内から5人兄弟を受け入れ(10月25日措置)ようやく令和5年度定数30名を確保することができました。

一時保護関係では、佐久児童相談所22名(前年13名)。延べ554日(前年380日)平均措置日数25.1日(前年29.2日)で措置解除により自宅または、措置変更を行い施設入所しております。

当園としては、児童一人ひとりの人権擁護や個性を尊重しながら、基本的な生活習慣を身につけることや、心身ともに健やかな人間育成を目指し、また、子どもにとって安全・安心が感じられる生活の場となるよう努力し、併せて家族の再統合や養育機能の再生に積極的にも取り組んできました。

本年度より自立支援専門相談員の配置を行い、在園児の社会自立に向け職業体験(イチゴ農園、農業(稲作、桃収穫)、配線工場体験)を通じ自己意識の向上に努めております。卒園児に対しても近況を聞き、必要に応じて家庭訪問を行いました。

昨年度に引き続き積極的な人材確保により職員定数4:1の加算を得て運営の安定化に努めました。また、民間施設給与等改善費(民改費)の引き上げと、社会的養護改善加算により職員の給与面での待遇も改善しています。

令和4年度の主な事業の実施状況は次のとおりです。

I 児童の利用状況について

(1) 定員	35名(本園)	6名(地域小規模)	合計41名
(2) 児童数	4年度(本園)	3年度(本園)	2年度(本園)
延人数	350名(278名)	354名(289名)	425名(365名)
月平均	29.2名(23.1名)	29.5名(24.1名)	35.4名(30.4名)

II 主な事業の実施状況

(別紙-2)

III 支援内容について

1 安全安心な生活環境の確保について

被虐待児等の入所が増加する中で、児童養護施設は安全・安心な生活の場の提供が支援の基盤です。施設内で、暴力や虐待、差別などが発生しないよう取り組んでおり、学園独自の「10の安心」を児童に徹底し、明るい施設づくりに努めました。また、CAP(子どもへの暴力防止プログラム)のワークショップの継続的な導入に加え、オンラインにより外部講師による性教育研修

や、園独自の生(性)教育ワークを計画的に実施し、職員、児童の暴力防止の意識を高めました。

2 個別支援の充実について

個別支援の充実は、施設運営の根幹をなすものであり、児童との信頼関係を形成し、一人ひとりの児童の自己肯定感を高め、将来自立していくための力を身に付けるために重要です。そのため個別担当制によって集団生活のあらゆる場面においても常に個別支援の重要性を意識しながら日々の業務を進めてきました。令和5年度より、ユニット化となるため若手の育成や養育の一貫性等組織としての養育力を高め、先輩職員が若手職員をフォローするためのグループを設け組織的な体制を強化しております。

(1) 治療的養育の推進について

被虐待等で情緒的に大きな課題を抱える子どもに、良好な衣食住を提供するとともに、「治療的養育」を基本方針とし、自立支援計画については、従来の自立訓練的な支援内容中心から、生活意欲の向上、安定した人間関係の確立等精神面に重点を置いています。

(2) 卒園児・在園児等の進路、措置変更について

4年度の中学3年生は在籍しておらず。高校3年の男子3名は、措置解除により専門学校、民間会社へ就職、自宅より共同企業所へ通所しております。小学生の3姉妹は、措置変更により自宅復帰をしています。

年度途中に措置解除された児童では、年中児は9月、小学5年生は3月に自宅復帰をしています。また、高校3年生は中退をして8月に民間会社へ就職をして社会自立をしています。

3 健康問題への取り組み

毎年のように発生する感染症の流行を食い止めるために、マニュアルの作成や研修を開催しています。

新型コロナ感染関係は、学校での感染により学園内では児童11名、職員1名でした。

この他本年度は、溶連菌、感染性胃腸炎はありませんでした。

4 児童家庭支援センター開設、運営について

本年度より児童家庭支援センタースミールを開設し、佐久広域圏の小海町、北相木村を除く市町村及び住民より相談を受け、相談件数は819件（佐久市422件、小諸市134件、軽井沢町117件 他）で、相談内容の主なものは子どもの成育に関する相談や、子どもが発達障害と診断されこれからどうしたら良いか、こどもの不登校等でありました。佐久児童相談所より1ケースの委託を受けております。

IV 住環境の整備

軽井沢町と貸借契約を締結

所在地 軽井沢町大字追分1422 借地面積 8,427.6㎡
(追分1422の部分7,707.25㎡ 追分1341-78部分720.35㎡)

(令和5年度借地面積 5,804.89 m²)

建築物の構造 一部鉄骨・木造

建築面積 1,249.17 m² 延べ床面積 1,371.45 m²

国庫補助関係は次世代育成支援対策施設整備交付金

国庫 214,781 千円、県費 107,390 千円 福祉医療機構借入 170,000 千円

総工事費 675,121 千円 補助対象事業費 514,063 千円

V ケア単位の小規模化について

地域小規模児童養護施設「Casa 佐久花園」では、地域分散化の先駆けとして5名の専任スタッフを中心に地域との共生を大切にしながら6名の児童の養育にあたりました。

VI 職員の専門性の向上

「治療的養育」推進のため、リモート研修を中心として積極的に参加させ専門性を高めました。また、定期的に園内での職員研修を実施し、施設内虐待防止、子どもの権利擁護に関する職員の意識向上を図りました。

さらに、どの職員も標準的な養育を実施していけるよう各支援のマニュアル(方針)の策定をしました。今後もOJTを積極的に実施しスキルアップに努めます。

VII 施設運営の健全化

県内では、引き続き児童養護施設利用児童が減少傾向であります。

佐久児童相談所は、令和5年4月 現在44名(昨年同月43名)の児童を児童養護施設に、養育里親へは20名(昨年同月20名)措置しています。佐久児童相談所においても相談件数は増加している状況ですが、家庭養育優先原則に従い、新規の入所児童数は少なくなると考えられ、東京都小平児相より1名の児童を受け入れました。

今後は、児童養護施設の小規模化・分散化を推進しながら、施設の健全な運営も確保していく必要があり、長期的に安定した施設運営を行うため多機能・高機能化を踏まえた健全運営に努めます。

本年度はクラウドファンディングにより公用車購入資金を集めた結果96名の方々にご理解をいただき5,960千円となり、新車を購入することができました。今後も各種財団等の助成を活用し健全財政に努めます。

VIII 地域との連携

平成22年から「軽井沢学園を応援する会」の発足をはじめとし、地域の方々から、当学園への応援の輪が広がっています。

学園ホームページへ児童の状況を登載することにより、別荘滞在者、Iターン常住者より児童養護施設がある事を知り寄付等温かい支援を多くいただきました。寄付107件(前年103件)と数回に渡り、野菜、果物等の現物の他寄付金をいただきました。こうした応援により職員とボランティアの皆さんと力を合わせ、より良い支援を実現し、応援してくださる方々の期待に応えるように運営しなければなりません。地域と連携することにより、地域の方が来園され、施設運営の透明性も高めることができます。

IX 職員構成について

年度途中で保育士の1名が退職しました。新園舎のユニット化に向け、指導員、保育士3名（新卒3）を補充しました。また児童家庭支援センターでは里親支援専門相談員、児童心理専門相談員1名、児童相談員2名の4名を配属しました。

—職員構成—（令和5年4月1日現在）

園長1(1)名 副園長1(1)名 事務1(1)名 指導員5名 保育士14(3)名
心理職員1(1)名 里親支援専門相談員2名 家庭支援専門員1名 自立支援
専門員1名(1)名 栄養士1(1)名 調理員4(1)名 管理宿直2(2)名
児童家庭支援センター 心理専門員1(1)名 相談員2(1)名
計38(14)名うち常勤35名

※（ ）は男性の内数

・園内行事・地域交流・ボランティア・招待等

・職員研修等

4月 4日	入学進級祝い	4月 27日	佐久児相連絡会
10日	幼児花見	5月 13日	SBIオンライン研修
10日	小学生男子花見	16日	小中連絡会
17日	追分区作業	20日	県連盟施設長連絡会(リモート)
5月 5日	炊き出し訓練・バーベキュー	6月 14日	COSプログラム研修(リモート)
6月 4日	西部小運動会	17日	COSプログラム研修(リモート)
16日	キラキラタイム(生教育)	7月 6日	関東ブロック研修(リモート)
7月 13日	ナイター野球参戦	7月	関東ブロック研修(リモート)
14日	ナイター野球参戦	12日	COSプログラム研修(リモート)
20日	第三者評価受診	15日	COSプログラム研修(リモート)
28日	キラキラタイム(生教育)	22日	支援職員部会
29日	幼・小・中 海水浴	25日	社会的養育推進に関する研修
8月 2日	キラキラタイム女子児童(生教育)	8月 26日	第三者評価合議会議
6日	屋台村→コロナ感染対策のため中止に(9月3日へ)	10月 5日	関東ブロック研修(リモート)
8日	2グループ行事	17日	連盟心理士部会
9日	ほっとタイム(心理教育)	21日	小中連絡会
10日	中学男子 海水浴	11月 12日	保育士養成協議会
14日	4グループ行事	11日	
14日	キラキラタイム小学生(生教育)	27日	SBIオンライン研修~29日
18日	キラキラタイム(生教育)	12月 1日	連盟初任者研修
9月 3日	屋台村	2日	連盟初任者研修
19日	キラキラタイム(生教育)	15日	連盟初任者研修
19日	キラキラタイム(生教育)	16日	連盟初任者研修
20日	ナイター野球参戦	16日	里親基礎研修(オンライン)
25日	ナイター野球参戦	2月 13日	連盟支援・心理・給食合同部会(ハイブリット)
10月 15日	小学生キッズワーク	13日	佐久児相連絡会
11月 19日	4グループ行事	3月 6日	連盟理事会
23日	2グループ行事	20日	権利擁護セミナー
27日	3グループ行事	24日	心理連絡会
12月 21日	キラキラタイム(生教育)		
24日	学園クリスマス会		
28日	キラキラタイム(生教育)		
1月 6日	園舎引越し		
14日	ほっとタイム(心理教育)		
15日	ほっとタイム(心理教育)		
25日	キラキラタイム(生教育)		
2月 23日	2グループ行事		
22日	塚田氏・中村氏主宰ラーメンボランティア		
26日	1グループ行事		
3月 5日	3グループ行事		
12日	4グループ行事		
18日	卒園生を送る会		

※その他年間を通じて実施したもの

- ・行事食の提供・避難訓練・調理実習
- ・調理実習・入所児童の誕生日会・入所児童に対する個別面接
- ・児童自立支援計画票の策定・評価・小中連絡会
- ・ケース検討(園内・関係機関)
- ・佐久児相心理連絡会・佐久児相4S連絡会
- ・あつまれ広場(児童自治会)
- ・里親実習コンサルテーション等

・園内行事・地域交流・ボランティア・招待等

- 4月 3日 食事交流
- 16日 鼻顔稲荷神社お花見
- 5月 3日 平尾山登山
- 5日 BBQ
- 6月 7日 食事交流
- 11日 職業体験(工場)
- 17日 食事交流
- 18日 職業体験(工場)
- 25日 学園野球試合
- 7月 9日 職業体験(いちご農園)
- 16日 職業体験(いちご農園)
- 23日 職業体験(いちご農園)
- 25日 キラキラタイム(小学生)
- 29日 松本アルプス公園(小学生)
- 30日 職業体験(いちご農園)
- 8月 12日 職業体験(いちご農園)
- 14日 佐久市宇宙センター観測所
- 15日 キラキラタイム(小学生)
- 19日 職業体験(いちご農園)
- 9月 3日 屋台村
- 17日 職業体験(いちご農園)
- 19日 生教育(女子会)
- 10月 16日 花園区草刈
- 25日 食事交流
- 11月 6日 焼き芋
- 20日 花園区清掃
- 12月 10日 支部お楽しみ会
- 20日 地区役員会
- 21日 グレート無茶プレゼント
- 1月 2日 初詣
- 15日 どんど焼き
- 2月 11日 初午祭
- 22日 激励会
- 25日 キャンドル作り
- 3月 15日 食事交流
- 18日 お別れ会
- 21日 Casaお別れ会
- 28日 ラウンドワン

・職員研修等

- 5月 11日 職員会・リーダー会
- 19日 生教育委員会
- 21日 SBI研修(～23)
- 26日 職員会・リーダー会・研修(OJT)
- 6月 8日 職員会・リーダー会・研修(児相)
- 23日 職員会・リーダー会・ケース検討会
- 7月 8日 職員会・リーダー会・研修(ディスカッションメッセージ)
- 19日 職員会・リーダー会・ケース検討会
- 10月 6日 職員会・リーダー会
- 21日 職員会・リーダー会・ケース検討会
- 11月 25日 職員会・リーダー会・研修(性教育)
- 1月 11日 職員会・リーダー会
- 26日 職員会・リーダー会
- 2月 6日 職員会・リーダー会・研修(嘔吐処理)
- 24日 職員会・リーダー会・ケース検討会
- 3月 8日 職員会・リーダー会

その他年間を通じて実施したもの

- ・受験生対象の学習指導ボランティア受け入れ
- ・行事食の提供
- ・入所児童の誕生日会
- ・避難訓練
- ・児童自立支援計画票の策定・評価
- ・ケース検討(園内・関係機関)
- ・保護者面接及び家庭訪問
- ・入所児童に対する個別面接
- ・職業体験

※地域別相談件数 集計表

令和4年度

	新規受理人数	相談実人数	相談延件数	その他の時間数
佐久市	21	89	422	654.49
小諸市	18	54	134	292.52
東御市	7	13	21	42.5
御代田町	5	9	10	9.33
軽井沢町	17	44	117	188.5
立科町	1	6	42	83.25
佐久穂町	5	9	16	20.5
小海町	0	0	0	0
南相木村	2	3	3	7.5
北相木村	0	0	0	0
南牧村	2	7	12	48
川上村	2	3	3	9.5
その他	15	24	39	71.47
合計	95	261	819	1427.56

※月次報告様式1-1の数値を転記すること。

令和4年度分 全国児童家庭支援センター運営事業実績報告 集計表

都道府県名	長野県	
センター名	児童家庭支援センター スミール	
①	相談の実人数(合計)	95人
②の内訳	電話相談件数	408件
	来所相談件数	107件
	訪問相談件数	223件
	心理療法等の件数	49件
	メール相談の件数	22件
	手紙相談の件数	0件
	その他の相談の件数	10件
②	相談延件数(合計)	819件
⑥	児相からの指導委託人数	1人
⑧	市町村の求めに応ずる事業	2回
⑨	「里親等への支援」(相談対応以外の支援・事業等)の回数	13回
⑩	「関係機関等との連携・連絡調整」の回数	153回
11	要綱に規定された事業回数(合計)	168回
12	相談延件数と要綱に規定された事業回数の総合計(②+11)	987件・回
②-1	厚労省が求める訪問相談件数(実績を2倍した件数を記入)	446件
13	厚労省が求める相談延件数と事業回数の総合計 (訪問相談件数を2倍にした相談延件数と事業回数の総合計を記入)	1,210件・回